



厳木高校の1年を振り返って

【この1年間『校長室の窓から』を読んでいたすべてのみなさんへ】

時が経つのは早いもので、今日から冬休みです。雪が舞う中、外では部活動の生徒たちが頑張っています。また、教室では大学入学共通テストや就職面接を控えた3年生や年明けの県下一斉模試を受験する1、2年生たちも教室で指導を受けています。

振り返ると、コロナに始まりコロナに終わった1年だった気がします。しかし、そんな状況においても厳木高校の生徒のみなさんは体育祭や文化祭、あるいは創立70周年記念式典などを大いに盛り上げてくれました。部活動では、インドアスポーツ部（女子バスケット）は5人という小人数ながらも単独チームで出場した公式戦で見事勝利を挙げてくれました。学習面でも、福岡大学工学部推薦入試合格や英語検定2級合格など、コツコツと努力を積み重ねた成果等、多くの『厳木の奇跡』を見せてくれた『幸せ』な1年でした。

先週の終業式の際、私から生徒のみなさんに伝えたメッセージを掲載します。体育館では一部省略した内容もありますが、是非フルバージョンでお読み下さい。

来年、寅年が厳木高校に縁のあるすべてのみなさんにとって素晴らしい1年となることを心からお祈りいたします。

Hello, everyone. How are you today? It is the last school day in 2021. Was it a very good year for you? Or not?

Looking back my days, it was a very happy year for me. I have two reasons.

First, about my health, I had no trouble about my health. I am very happy about it.

Second, about my business, because of the corona virus I had many troubles. Sometimes I had no idea what to do. I asked people around me for help. I said, "Help me!" Kyoto-sensei, Jimucho-san, other members of Kyuragi Senior High School carefully listened to me, and gave me warm hands to overcome the troubles. Finally we did overcome the troubles. I thank them for their kind heart very much. I am very happy about it, too.

Just like my case, when you are in trouble, you are sure to have someone who will listen to you and give you warm hands to you. Believe in yourself, believe in your friends, and try your best. And you can overcome the troubles.

早いもので、今日が2021年最後の登校日となりました。みなさんにとってこの1年はどんな1年だったでしょうか。良い1年でしたか？それとも？

先日、今年の漢字が発表されました。「金」でしたね。東京オリンピック・パラリンピックが開催された年であり、コロナ対策給付金の「金」でもあるからだそうです。みなさんにとって今年の漢字は何ですか？私にとって今年の漢字は「幸」、幸福「幸」だと感じています。

まずは、1年間大きな病気やけがをすることもなく過ごせたことは一番の幸せ、心から感謝しています。そして、コロナ2年目、変わらず学校行事の開催等これまでに経験したことがない様々な課題や困難の連続でした。自分一人では乗り越えられないことも多くありましたが、周りの人たちに話を聞いてもらい、助言や提案をもらい、課題を乗り越えることができました。教頭先生や事務長先生他、厳木高校の先生方には、私が困っている場面で、大いに力になってもらいました。厳木高校だけでなく、他校や教育委員会の先生方にも協力してもらいました。もちろん、家族の笑顔や何気ない毎日の会話からも、たくさんたくさんエネルギーをもらい、困難を乗り越えることができました。私を応援してくれた

さて、若く成長過程にあるみなさんには、色々な悩み、不安があると思います。自分で乗り越えられると感じる時もあれば、一人では解決できないと不安を感じる時もあるでしょう。そんな時には、私と同じように近くの誰かに頼って下さい。みなさんの周りには、心から心配してくれる大人が必ずいます。例えば、家族、先生、スクールカウンセラーに悩みを聞いてもらうだけでも落ち着けるでしょう。また、良い解決方法を示してくれたり、より良い助言者につないでくれたりするでしょう。一人で抱えきれない悩みや不安を感じる時には、必ず周りの大人に相談して下さい。また、みなさんの周りに元気がない友達がいたら、一緒に相談に行こうと声をかけて、信頼できる大人につないで下さい。

周りの人たちから温かい励ましや力をもらい、一步一步成長しつつ、みなさんが目指すゴール、または次のステージへと歩みを進めて下さい。みなさんには明るい未来が待っています。自分を信じ、周囲を信じて、力を尽くして下さい。

明日からの冬休み、卒業あるいは進級を控え、ゴールを目指し、健康で充実した毎日を送って下さい。そして、来年1月11日にまた全員の元気な笑顔を見ることを期待して、私からの話とします。

【校長のつぶやき】

前回の『校長室の窓から』以来、ずいぶんと時間が空いてしまいました。その間、体育祭、文化祭、研究授業、AED講習会等など、多くの学校行事が開催され、生徒のみなさんが活躍しました。機会を見つけて紹介します。

年が明ければ、高校入試や卒業式、修了式など、厳木高校と生徒の皆さんにとって「特別な季節」が始まります。卒業式を前に、サガンスギ植樹式を開催することとしました。後日、詳しくご紹介します。ご期待下さい。

来年は君たちの年だ！頑張れ厳木高校生！羽ばたけ！

